

福住さとねっと

Fukusumi Sato Net



令和4年8月21日

第 152 号

発行：福住地区まちづくり協議会

〒669-2513 丹波篠山市福住 342

TEL&FAX：079-557-0116

メール：fk.machikyo@gmail.com

Europe-Japan Rural Entrepreneurship Seminar

K&U Jean Monnet Module Conference
The 1st Saitan Valley Promotion Seminar

日欧農村地域
アントレプレナーシップセミナー

第1期(7月8日)～第5期(11月) 関西学院大学(芦屋)・サトネット・森公苑

2022.7.8 (Fri) 13:30-16:30

丹波の森公苑多目的室 (丹波市柏原町柏原5600)

今日、グローバル化が進む中、農村地域は人口減少や高齢化が進んでおり、農村地域の活性化や持続可能な発展を目指すことが求められています。本セミナーでは、日欧両地域の農村地域を比較対照し、アントレプレナーシップ(起業家精神)の重要性や、農村地域の活性化に向けた取り組みについて学びます。丹波地域の現状や課題、今後の展望について学び、地域活性化に貢献できる人材を育成します。

ご参加方法
全場参加型のZoom参加(100名程度)
丹波市在住の参加者は、丹波市役所より
地域コミュニティセンター(福住)にある大学関係者
アントレプレナーシップ講座を受講した方のみ参加可

お問合せ先
シリ丹バレー推進協議会事務局
(丹波市柏原町森公苑5600(丹波の森公苑内))
〒669-2513
丹波市役所電話室5600(丹波の森公苑内)
TEL 0795-55-5045
E-mail wordpress@saitan-valley.com

主催 関西学院大学産業界研究部 シリ丹バレー推進協議会 関西学院大学 Kansai Gakuin University With the support of the Erasmus+ Programme of the European Union

7月8日(金)、県立丹波の森公苑で※シリ丹バレー推進協議会・関西学院大学産業界研究所主催「日欧農村地域アントレプレナーシップセミナー」が開催されました。アントレプレナーとは「起業家」のこと。

最近、起業が続く福住から、旧福住小学校で(株)Local PR Planを営む安達鷹矢さんが出席され



福住の活力を安達さんがPR!
シリ丹バレー推進協議会・関西学院大学産業界研究所主催セミナー

ました。起業が地域に及ぼす好影響や、ドイツの起業家の取り組みについて、関西学院大学の先生方が講演された後、移住者による起業を安達さんがパネルトークで発表。

安達さんは「福住という地域をPRする」仕事を通じて、移住が進むことで地域がにぎやかになり、それがまた次の起業家の活動につながっていることを紹介。福住の元気・活力をPRしていただきました。

※シリ丹バレー推進協議会
丹波地域では、産学官民が一体となって内外の人の力を結集して地域発のイノベーションを推進するイニシアティブ「シリ丹

NPO 法人 SHUKUBA 「米粉の日」



SHUKUBA 加工所 daidocolab. (だいどころぼ) では、ご好評いただいております製粉機を使った米粉加工を承っております。(1kg から) 希望者の方には真空パックにてお渡ししております。

- 加工賃：1kg あたり 420 円
- 申し込み：ご希望の方は加工所営業時間に電話 (080-9534-4275) まで
- 営業時間：月・水・木曜日の 9 時～17 時

「米粉の日」を毎月第4月曜に定期開催します!

8月29日(月)、9月26日(月)開催予定です。

●問い合わせ
シリ丹バレー推進協議会事務局(兵庫県丹波県民局 県民交流室 たんば共創課)
丹波市柏原町柏原5600
0(県立丹波の森公苑内)
電話：0795-173106
FAX：0795-172109
90
899
メール：info@saitan-valley.com

一本杉販売所だより

みなさん、こんにちは!
ここ数日ゲリラ豪雨などがあり不安定な一週間でありました。今日は朝方少し雨が降っていましたが、来週からはまた暑い真夏の晴天が続くようです。
丹波篠山特産、黒大豆の生育も順調です。豆の花が咲き始めました。
農家のみなさんは、これからの管理が大変で暑さと闘いながら頑張っておられます!

トマト・きゅうり・なすび・ししとうがらし・万願寺とうがらし・シマウリ・まくわうり・そうめん南瓜・南瓜などいっぱいの夏野菜です。

農家レストラン福住からは、前回お知らせした・カツカレー・唐揚げ定食のほか、手作り弁当・福住定食がおすすめです。



8/18 (木)「よ〜いドン」の取材ありました！ = SHUKUBA 情報 =

去る7月26日(火)、お馴染みの吉本興業の座長酒井藍さんが「SHUKUBA」のカフェ「ノウム」さんを訪ねて取材に来られました。関西テレビの「よ〜いドン」の8月18日(木)午前放送分の「あいLOVE田舎暮らし」の取材でした。

移住者が活用されている古民家物件2件と篠山城、そして移住者が活躍されているSHUKUBAのチャレンジカフェ「ノウム」木村百合子さんの取材です。

当日は、旧福住小学校玄関から入られ、二宮金次郎の銅像に感動。「ノウム」に入って、教室の雰囲気が残る黒板や机にも感動され、木村さん特製ハンバーグ定食(地元の野菜入り)に美味しい〜と何度も舌鼓を打たれていました。



今年の「八朔まつり」も中止！

去る7月7日(木)、各地区自治会長及び宮総代のみなさんで、今年の八朔まつり(8/31)の開催の可否について協議が行われました。

協議の結果、7月の水無月まつり中止や新型コロナウイルス感染症の再拡大などの状況から、宵宮の山車の巡行等は今年度も中止となりました。本宮の神事のみ実施されます。

福住の夏まつり「水無月まつり」「八朔まつり」の双方とも中止は、本当に残念です。

来年こそ、盛大に開催したいですね！

まもなく稲刈り！

お盆を過ぎ、田んぼの稲穂も首を垂れ、色づき始めましたね。まもなく、稲刈りが始まり、楽しみな、「実りの秋」がやってきますね！



集落だよりNo.10～福住下(ふくすみしも)～

福住地区各集落の取り組みや行事などの集落情報をお伝えする「集落だより」。

今回は、福住下自治会長の西正樹さんから投稿いただきました。

福住下集落では、毎年7月の最終土曜日に開催される、住吉神社「水無月まつり」において亀甲山として、山車の巡行や打ち込み囃子の奉納などを行っています。

今年の水無月まつりも新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止になり、ここ3年間取り組みができていません。

しかしながら、このようなコロナ禍だからこそ、この期間を利用して、山車の後ろに飾られている「見送幕」のレプリカを製作することができました。※写真(下)

亀甲山の見送幕は綴織で作られており、大変貴重なものだそうで、長年の使用等により傷みや劣化が進んでいたため、この度のレプリカを製作することになりました。約1年半の期間をかけて製作いただき、往時の鮮やかな色合いの「見送幕」が完成しました。※写真(上)は、新旧の見送幕

集落のみなさんには7月29日、30日にお披露目させていただいたのですが、福住地区のみなさんへのお披露目は、来年の水無月まつりです。また、一時期途絶え、集落のみんなで復活させた迫力ある伝統芸能「打ち込み囃子」も、来年にはみなさんに住吉神社の境内で再びお聞きいただきたいと思っています。

お楽しみにしてください！



丹波篠山市大会に向けてGo！

= 全国伝建協総会・研修会福住地区実行委員会 =

2020年(令和2年)5月に開催予定であった丹波篠山市大会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響などで遅れること3年。実行委員会の活動もしばらく休止状態でしたが、いよいよ2023年(令和5年)5月の開催が決定したのを受けて活動を再開しました。

7月28日(木)に開催した令和4年度第1回実行委員会では、①大会開催の現状(経過)、及び②今までの取り組みの経過の2点について確認と共通理解を図り、続いて①実行委員会委員の役員及び部会構成②実行委員会の開催日の設定(毎月20日)③部会の担当項目の確認を行い本格的に活動がスタートしました。

第1回実行委員会に続き8月20日に開催した第2回実行委員会では、すでに大筋で決めている担当項目についての整理(既達成項目・未達成項目・達成困難項目等の精査)、追加項目の有無などについて協議。丹波篠山市大会までの残された期間を勘案して、部会活動は随時、実行委員会は毎月のペースでピッチをあげて活動していきます。

また、丹波篠山市大会までには完成しませんが、市道福住西野々線(西京街道)美装化工事についても以前から市に要望してきた重要案件であり、地元窓口として実行委員会の活動の一環として取り組んでいきたいと思っております。

全国伝建協総会・研修会は、行政と住民が一体となって協働して開催されるものであり、住民が担当する内容は、今後大急ぎで詳細が決まってくると思いますが、住民のみなさんに個別事項についてご協力をお願いすることがあると存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

福住地区の皆様をはじめ、大会を支えていただきたい関係機関の皆様、大会の成功を見守っていただく多くの方々のご理解、ご協力をお願いいたします。